

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	印南町立印南中学校	野田 明
学校所在地		
(〒 649 - 1534) 和歌山県日高郡印南町印南2145 tel 0738(42)0021 fax 0738(42)1042 e-mail inami-j@town.wakayama-inami.ed.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
北 周平	教諭・保健体育科	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は日高郡中部の沿岸沿い、国道42号線に面した所にあり、漁業と農業が盛んな地域である。全校生徒は70名で、とても素直で活動的である。学校行事や体験活動にも積極的に取り組んでいる。また、本校では南海トラフ地震での被害が想定されているため、防災教育や防災訓練に定期的に取り組んでおり、特に地震・津波被害を想定した防災学習は「ぼうさい甲子園」で大賞を受賞するなどの充実した取り組みが行われている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 2年生 15名	職員 3名	本宮
実践研究テーマ		
和歌山県が誇る世界遺産に触れ、故郷についての知識を深める。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	ふるさと学習	
〔キーワード〕 ふるさと学習 世界遺産学習		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「紀伊山地の霊場参詣道」が世界遺産に登録された過程を学ぶことで、郷土和歌山に対する理解を深める。</li> <li>・現地学習を通して、和歌山の歴史を体感するとともに、1年時に学習した印南4王子と熊野古道の関連に触れ、より理解を深める。</li> </ul>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 10時間 （「ふるさと学習～和歌山が誇る世界遺産」 10時間）		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の方に来校していただき、本校で世界遺産や熊野古道について事前講座をしていただいた。</li> <li>・世界遺産センターを訪問し、職員の方から世界遺産についての講話をしていただいた。</li> <li>・現地で、世界遺産マスターの方から道を歩きながらガイドをしていただいた。</li> </ul>		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習（本校）	1年時に学習した印南町4王子について、1年時に作成したスライドを用いて復習し、王子や熊野古道についての既習内容を確認した。	観察
2	事前講座（本校）	世界遺産センターの土永さんから、世界遺産の歴史や、「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要を説明していただいた。	観察・ワークシート
3	世界遺産講座（世界遺産センター）	世界遺産センター内で説明をしていただき、展示物等の見学を行った。	観察
4	現地学習（熊野古道）	世界遺産マスターの方々の説明を聞きながら、伏拝王子から熊野本宮大社まで歩いた。	観察
5	まとめ学習（本校）	学んだことをプレゼンテーションソフトを活用してまとめ、発表した。また、自分たちが歩いた熊野古道についてのフォトマップを作成した。伏拝王子と祓殿王子について、学んだ内容を整理し、特徴を考えながらキャラクターを考案し、キャラクターコンテストを実施した。	成果物
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>生徒は1年時に印南町4王子について学習しており、王子や熊野古道についての知識はある程度身につけていた。今回の学習を通して、1年時の学習したことをさらに深めることができ、和歌山県の歴史を学び考えることができた。また現地で実際に体験することで、自分たちの郷土である和歌山県の良さを理解し、将来の人々に伝えたいと思えるようになった。現地での学習後、見てきたこと・聞いてきたことを協力してまとめ、学習発表会で発表することが出来た。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>世界遺産については学校で学ぶ機会も少なく、このような機会をいただいたことで、普段の授業では教えることのできない貴重なことを学んだり、体験したりすることができた。特に現地学習については、実際に参詣道を歩き、今まで知らなかった和歌山の自然や歴史を肌で体感することで出来た。歴史を学ぶだけでなく、後世に伝えていくためには、郷土をより深く知るだけでなく、自然保護や環境保護などの取り組みが必要になってくると考えることもできた。この学習で学んだことを生かし、郷土和歌山を誇りに思える人材を育てていきたい。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>和歌山県の良さや、後世の人々に伝えていく大切さを理解することができた。今後は、学んだことを他者に伝えたり、後世に伝えていく体験的な活動（道普請の参加など）を増やしていきたいと考えている。</p>			

## 様式 2

### 令和7年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

#### ○事前学習・事前講座



#### ○現地学習



#### ○まとめ学習



#### ○生徒の感想

- ・熊野本宮大社の歴史を知ったうえで、もう一度本宮大社に訪れたいと思いました。
- ・山を登りきって大きな鳥居が見えたところが心に残りました。和歌山県の世界遺産のことに知ることができたので、もっと知ってもらえるように話をしていきたいと思いました。
- ・大きな鳥居は遠くからでも34mあるからはっきり見えたことが印象に残りました。熊野古道の王子以外についても、歴史のことを知りたいと思いました。
- ・伏拝王子に行ったときに、昔の人たちも同じ景色を見ていたと知ったことが心に残りました。今回の体験で、熊野古道や熊野三山について、より関心が深まったので、学んだことや感じたことを今後の学習に生かしていきたいです。
- ・世界遺産センターでは熊野古道についてより詳しく知り、歩くときは話しながら景色を見て楽しみました。学習したことをまとめて、魅力が伝わるような発表をしたいです。
- ・僕は熊野古道に行く前まではあまり楽しそうとは思っていませんでしたが、自然の美しさを感じながら歩いていると、心が和らいで気持ちを落ち着かせることができました。熊野古道の保全を行っていると聞いたので、大人になったら保全活動に自主的に取り組みたいです。